

## 中学校給食試行結果について

### 1 中学校給食試行結果（途中経過）の検証について

中学校給食の全校実施に向けた課題検証として、給食の配送等に係る時間、大規模校での実施方法及び配膳作業場所の確保方法などを確認するため、本年10月以降新たに給食を開始した試行校3校で検証を行いました。

#### (1) 配送等に係る時間の検証

すべての中学校において学校給食衛生管理基準に定められている「調理後2時間以内に給食」を提供することが可能かを検証するため、今年度新たに試行校として明治中学校を選定し、検証を行いました。

#### ア 検証方法

調理業者が、給食を配送するために調理工場を出発（調理完了）してから、学校の給食開始時刻までの時間を調査

- ・調理場所：海老名市本郷1692-1 株式会社山路フードシステム湘南店  
(他の検証も同調理場所にて実施)
- ・検証校：明治中学校（生徒数507人 学級数15）
- ・検証期間：平成27年10月26日(月)（給食開始日）から11月4日(水)
- ・実施結果：次表のとおり

| 検証日              | 10/26(月)               | 10/27(火)       | 10/28(水)               | 10/29(木)       | 11/4(水)         |
|------------------|------------------------|----------------|------------------------|----------------|-----------------|
| 献立<br>( ) 内汁物    | チーズハンバーグ<br>(ジュリアンスープ) | あじフライ          | ウィンナーサンド<br>(ハンフキンスープ) | プルコギ           | うずら卵と<br>野菜の五目煮 |
| 食数               | 149食                   | 134食           | 141食                   | 135食           | 122食            |
| 工場出発時刻(a)        | 10:50                  | 10:45          | 10:50                  | 10:50          | 11:10           |
| 学校到着時刻<br>(配送時間) | 11:20<br>(30分)         | 11:20<br>(35分) | 11:30<br>(40分)         | 11:30<br>(40分) | 11:40<br>(30分)  |
| 配膳作業時間           | 1時間30分                 | 1時間30分         | 1時間                    | 1時間20分         | 50分             |
| 実配膳作業時間          | 1時間10分                 | 1時間5分          | 1時間                    | 1時間5分          | 50分             |
| 給食開始時刻(b)        | 12:50                  | 12:50          | 12:30*                 | 12:50          | 12:30*          |
| 所要時間(a)~(b)      | 2時間                    | 2時間5分          | 1時間40分                 | 2時間            | 1時間10分          |

※短縮日課のため、給食開始時刻が20分早い

- ・実配膳作業時間は、配送コンテナの搬入、学級ごとの仕分け、校長への検食配膳、各階への配膳に要した総時間数(配膳作業時間から休憩等の時間を除いた時間数)
- ・10月30日、11月2日は給食実施なし
- ・10月27日は配送ドライバーのミス(短縮日課と勘違い)により時間超過



<明治中学校 配送コンテナの仕分け作業(配膳室内)>



<明治中学校 各学級分の給食を生徒に渡す配膳員(4階エレベータ前)>

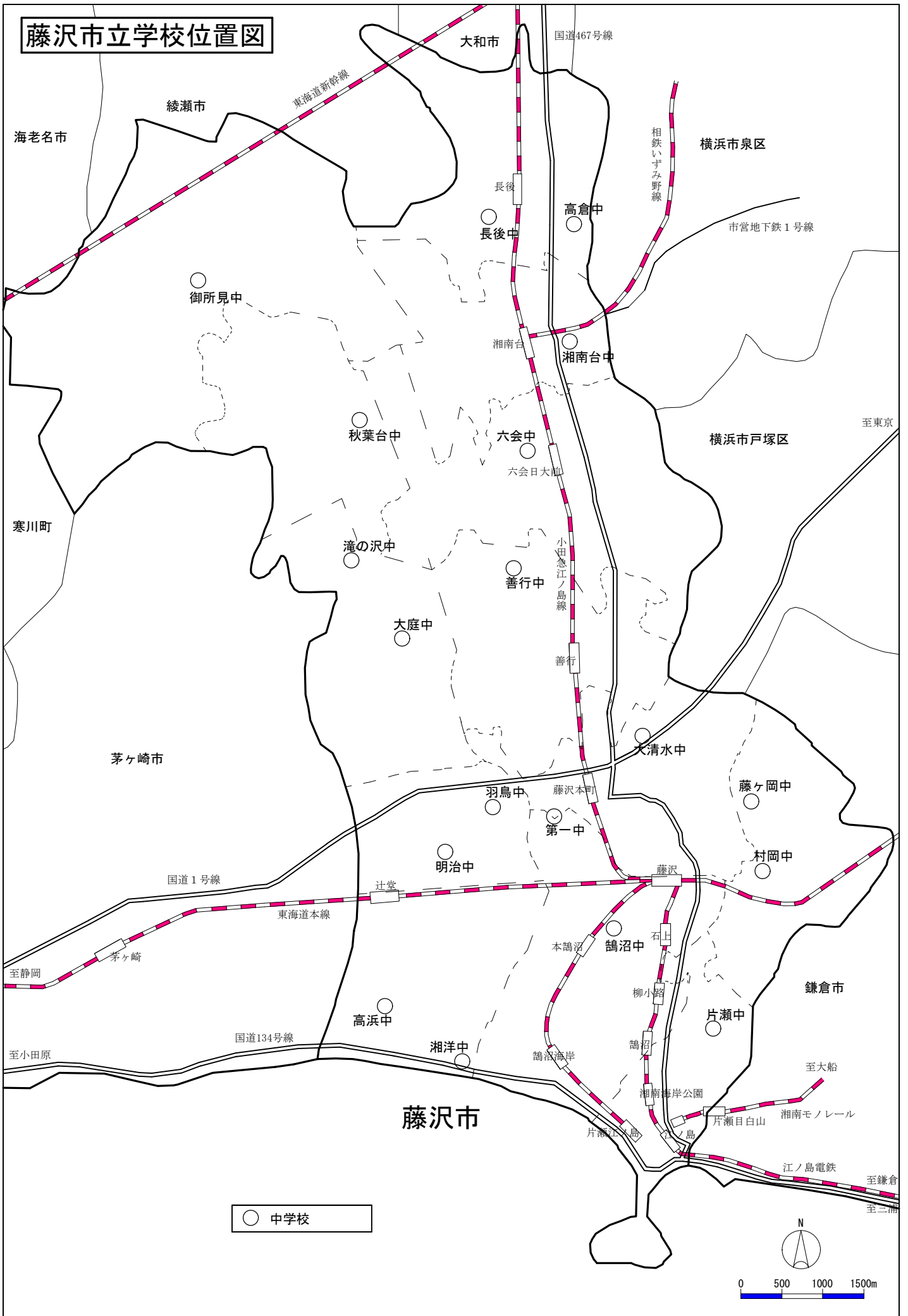
## イ 検証結果

- ・海老名市の調理工場から明治中学校までの配送時間：平均 約 35分
- ・学校内での配膳に要する時間（実配膳作業時間）：平均 約 1時間2分

→ 配送と配膳に係る時間の平均：1時間37分

結果表が示すように、明治中学校周辺の地域では、2時間以内の給食提供が可能ということが確認できました。

# 藤沢市立学校位置図





## (2) 大規模校での実施方法の検証

現在藤沢市立中学校の規模（学級数）は、六会中学校及び湘洋中学校の22学級が最大となっています。それらの学校で給食を実施する場合の課題を確認するため、今年度新たに試行校として六会中学校を選定し、検証を行いました。

※給食は、学級別の配送コンテナに収納されて届くため、配膳作業は食数（生徒数）ではなく、学級数により作業量が増減します。

### ア 検証場所等

- ・ 検証校：六会中学校（生徒数812人 学級数22）
- ・ 検証開始日：平成27年10月26日（月）（給食開始日）



<六会中学校 学校ごとに専用の配送車で個別に配送>



<六会中学校 配膳室内での配膳作業（配膳員を2人から3人に増員して作業）>

### 配送・配膳作業時間比較表 (2015年10月28日(水)の配膳状況※)

| 学 校 名            | 六会中学校          | 明治中学校          |
|------------------|----------------|----------------|
| 学 級 数            | 22             | 15             |
| 工場出発時刻(a)        | 10:55          | 10:50          |
| 学校到着時刻<br>(配送時間) | 11:30<br>(35分) | 11:30<br>(40分) |
| 配膳作業時間           | 55分            | 1時間            |
| 実配膳作業時間          | 45分            | 1時間            |
| 配送・配膳時間の合計       | 1時間20分         | 1時間40分         |
| 給食開始時刻(b)        | 12:25          | 12:30          |
| 所要時間(a)~(b)      | 1時間30分         | 1時間40分         |

※両校とも短縮日課のうえ、献立に汁物があるため配送コンテナ数が多く、作業量が最大となる日

## イ 検証結果

配送・配膳作業については、給食開始前に調理業者と調整し、次のように対応することとしました。

- ・六会中学校に配送するために専用の配送車両を準備
- ・校内で配膳作業を行う配膳員を増員

当初は1台の大型車両で複数校に配送する予定でしたが、学校ごとに異なる給食開始時刻や、短縮日課に柔軟に対応するため、配送車両を学校ごとに用意しました。  
(現在は他の試行校も同様に専用車両で配送しています。)

また、作業の遅延で給食の提供に支障が出ないように配膳員の人数を増員しました。  
(他の試行校は配膳員2人のところ、六会中学校は3人配置としました。)

その結果、上記比較表のとおり、学級数は明治中学校の1.5倍あるものの、配送・配膳作業時間は20分ほど短縮することができました。

このことから、学級数が多い学校においても、配膳員の増員などで対応することにより、対応が可能なことが確認できました。

## (3) 配膳作業場所の確保方法の検証

施設の構造上、配膳室の整備が困難な学校において、作業スペースを確保する方法を検討するため、第一中学校を新たに試行校として選定し、検証を行いました。

※配送されてきた給食の仕分け作業には、通常、普通教室の半分程度の作業スペースが必要となりますが、第一中学校の配膳室は牛乳保冷庫分のスペースしかなく、周囲に拡張できる場所もないため、改修工事等で配膳室を整備することが困難です。

## ア 検証場所等

- ・ 検 証 校：第一中学校（生徒数617人 学級数18(うち特別支援学級2)）
- ・ 検証開始日：平成27年11月9日(月)（給食開始日）



<第一中学校 配膳室(奥の引き戸から手前の引き戸まで)>



<第一中学校 配膳作業(1階 多目的スペースをパーティションで囲い作業場所を確保)>

## イ 検証結果

学校との調整の結果、狭小な配膳室ではなく、搬入された配送コンテナを近接する多目的スペースまで台車で運搬し、仕分け作業を行うこととしました。

搬入場所と作業場所を分けることで、大規模な改修工事を行わなくとも、作業スペースを確保することが可能となり、今後配膳室整備の困難な学校においても中学校給食が実施可能であることが確認できました。



## 2 全校実施に向けた課題への対応について

### (1) 検証結果に基づく課題への対応

中学校給食の実施については、昨年度のアンケート調査結果（9ページの資料参照）に示されているとおり、課題とされていた日課表への影響は少ないことが確認されています。また、今年度の試行結果から学級数の多い大規模校や、配膳室の整備が困難な学校についても、実施可能であることが確認できました。

今後は、今回の試行により明らかになった課題について、次のとおり対応策を調整しながら、全校実施に向けた計画の策定を進めます。

#### ア 2時間以内の給食実施が困難な地域について

現行調理業者の調理場（海老名市）から給食を配送して、2時間以内に喫食のできる地域は、明治中学校での検証結果から、同校と同じくらいの配送距離にある学校15校（JR東海道本線よりも北に位置する学校・3ページ学校位置図参照）であることが確認できました。

そのため、それよりも南に位置する湘洋中学校、鵜沼中学校、片瀬中学校及び高浜中学校の4校については、配送時間が40分から1時間程度と見込まれ、現在の実施方法では調理後2時間以内に給食の提供ができない場合が想定されます。

##### <現在の実施方法>

- ・市外の調理工場で調理したものを、学級ごとにコンテナに入れ、各学校へ配送
- ・各学校において、2人の配膳員が主食・おかず・汁物を学級ごとに台車に乗せ、エレベータを使用して教室のある各階に配膳

#### イ 試行結果に基づく対応方法

今回試行した明治中学校においては、配送にかかる時間は平均35分程度でしたが、学校内での配膳作業は平均して1時間以上かかることがわかりました。

一方、配膳員を増員した六会中学校は、作業量が多い日でも配膳作業は45分程度で、全体の所要時間も1時間30分と、基準の2時間よりも30分短縮できております。（仮に配送時間が1時間かかったとしても、2時間以内の喫食が可能）

このことから、配送距離が明治中学校より長く、時間のかかる学校については、配膳員を増員し、学校内での作業時間を短縮すれば、対応が可能と考えられます。

#### 試行期間終了後の調理業者選定について

中学校給食の全校実施に際しては、試行期間終了後の平成28年度に改めて実施可能な調理業者を選定することとなりますが、試行結果が示すとおり、調理工場から給食を1時間以内に配送可能な業者であれば、業務を請け負うことが可能と思われます。

## (2) その他の課題への対応

### ア 喫食率について

喫食率のみが給食の良し悪しを決める判断材料ではありませんが、喫食率の低下は調理業者の撤退といった事態にも繋がるため、給食事業を安定的に継続していくためには、喫食率の維持・向上策を検討する必要があります。

(平成27年4月から10月までの喫食率：34.6パーセント)

#### ・生徒・児童を対象とした試食会の実施

昨年度に生徒・保護者に対して実施したアンケート調査結果では、保護者が給食を利用しない理由は、「生徒（子ども）が希望していない」が最も多く、実際に喫食する生徒の意見が影響していることが伺われます。

こうしたアンケート結果からも、喫食率向上のためには生徒が実際に給食を試食する必要があると考えます。今までは、中学校給食事業を理解してもらうために、保護者向けに試食会を実施してきましたが、今後は生徒や、これから中学校に入学する小学6年生を対象とした試食会の実施を検討します。

#### ・献立の検討

同アンケート調査結果を見ると、「献立が好みに合わない」も給食を利用しない理由の上位となっています。

文部科学省が示す「学校給食摂取基準」に基づき作成される献立が、必ずしも生徒の好みと一致するわけではありませんが、小学校の給食で児童に好評であった献立（ソフト麺や揚げパンなど）であれば、摂取基準も満たし、かつ喫食率の向上も期待できるため、今後、中学校給食にもそうした献立の導入を検討します。

#### ・予約方法の改善

同アンケート調査結果には、「注文や受取が面倒」といった意見もありました。

予約状況を確認すると、僅かではありますが、月初めや夏休みなどの長期休業後の予約数が減少している状況が見受けられます。予約数は翌週になると回復することから、原因は予約忘れによるものと推察されます。

現在の予約システムは、1日単位若しくは1カ月単位で予約する方式のため、翌月以降の予約漏れが発生し、結果として喫食率にも影響が出ていると考えられます。そのため、今後は、年間予約の導入を検討します。

## 3 今後のスケジュールについて

- ・ 1月に第一中学校、明治中学校及び六会中学校の生徒・保護者にアンケート調査を実施
- ・ 2月藤沢市議会定例会において全校実施に向けた実施計画案について報告